



多世代がともにいきいきと思い思いに暮らすことができるまち
やさシティ、まつど。

～ つよくなやかに みんなで松戸の新たな時代を創ろう ～



松戸市の概要

松戸市は、千葉県北西部に位置し、面積は61.38km²、江戸川を挟んで東京都と埼玉県に隣接しています。東京都心部からは20km圏内にあり、6路線23駅と周囲の都市と比べて路線・駅とも多数あり、また江戸川や坂川、21世紀の森と広場をはじめ斜面林などの樹林地や街路樹など、水やみどりの多彩な資源に恵まれています。台地と低地、谷津で形成される地形は起伏に富み、低地部を中心に12の一級河川と9の準用河川が流れるなど、まさに豊かな表情を生み出しています。



松戸市街と江戸川



国分川

交通の要衝・宿場町として繁栄

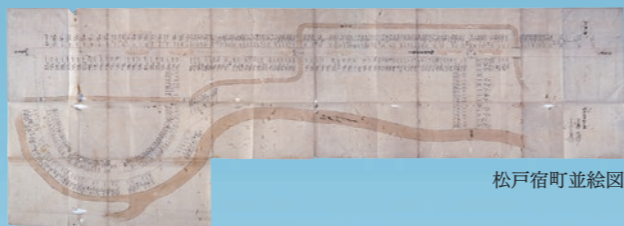
平安時代には、今の市川市国府台付近に下総国の国府が置かれ、ここから常陸へ向かう官道が市域を通っていました。戦国時代は小金城主・高城氏が東葛を支配したため、小金が政治や交通の中心地になりました。

江戸時代に幕府が水戸街道を整備すると、松戸と小金は宿場町として繁栄し、松戸の江戸川沿いには河岸が設けられ賑わいを見せていました。また、常盤平・松飛台・五香六実の一带は、小金牧と呼ばれた幕府直轄の馬の放牧場で、幸谷の福昌寺にある絵馬には野馬捕りの様子が描かれており、徳川将軍による御鹿狩りを描いた錦絵も博物館に展示されています。

明治時代になると、市域の町村は千葉県に属しました。明治22年に栗山村などと合併して成立した松戸町は、郡役所、郵便局、警察署、裁判所が置かれるなど東葛飾郡の行政の中心地でした。明治29年、現在の常磐線が開通し、松戸駅、馬橋駅、北小金駅が順次開設。大正5年に流山鉄道（現流鉄）が開通し、大正12年には現在の東武野田線が開通、六実駅が開設されました。



温故東の花 第五編 将軍家於小金原御猪狩之図



松戸宿町並絵図



馬橋駅(昭和36年頃)



北小金駅(昭和29年頃)



六実駅(昭和36年頃)

松戸に住んだ幻の将軍

明治17年、江戸幕府最後の将軍徳川慶喜の実弟徳川昭武が戸定邸を建てて松戸に移り住みます。戸定邸は、明治前期の大名華族の邸宅で、建築当初の建物の大部分が現存する全国的にも数少ない貴重な事例として、平成18年に国の重要文化財に指定されています。

また、客間の前に広がる洋風技法を取り入れた庭園は、平成27年に「旧徳川昭武庭園(戸定邸庭園)」として国指定名勝になりました。徳川昭武は多彩な趣味を持ち、明治時代の松戸を撮影した貴重な写真が数多く残されています。



徳川慶喜(左端)・昭武(中央後方)ほか集合写真(明治22年)



戸定邸／徳川慶喜撮影(明治31年)

市制施行

昭和18年、松戸町、高木村、馬橋村が合併して人口約4万人で市制を施行しました。終戦後、政治社会体制の大きな変革の中、松戸市の都市づくりが始まります。昭和29年に旧小金町の大部分を編入、昭和31年には沼南村の一部を併せて現在の市域となりました。

昭和30年の新京成電鉄松戸駅～津田沼間の開通、昭和35年の常盤平団地の入居開始を経て、昭和43年に市の人口は20万人を突破します。昭和46年には、常磐線が複数線化されて営団地下鉄千代田線の相互乗り入れが始まるなど、松戸市は急激に膨張する首都東京の住宅需要の受け皿として、日本の高度経済成長を支えました。

昭和50年代に入ると、人口急増の歪みを是正するため計画的な都市づくりを推進していきます。市制施行50周年を迎えた平成5年には「21世紀の森と広場」がオープンし、都会的な機能と自然の豊かさが融合する成熟した街へと成長を遂げ、現在、約50万人の市民が暮らす首都圏有数の規模を誇る都市として発展を続けています。



本土寺



流鉄流山線



松戸のあゆみ

「松戸市誕生からの年表」



松戸市役所(昭和28年5月)



七草マラソン(昭和36年撮影)



国道6号(左)昭和38年頃(右)現在



(左)旧水戸街道松戸駅入口付近(昭和33年頃)(右)現在の同所



観光梨園(昭和43年撮影)



常磐線が複々線に(昭和46年)



常盤平さくら通り「日本の道100選」



新京成電鉄開通(昭和30年4月)



常盤平団地入居開始(昭和35年)



(左)松戸駅新駅舎完成(昭和46年)(右)同じ位置から見た現在の松戸駅



すぐやる課の作業風景



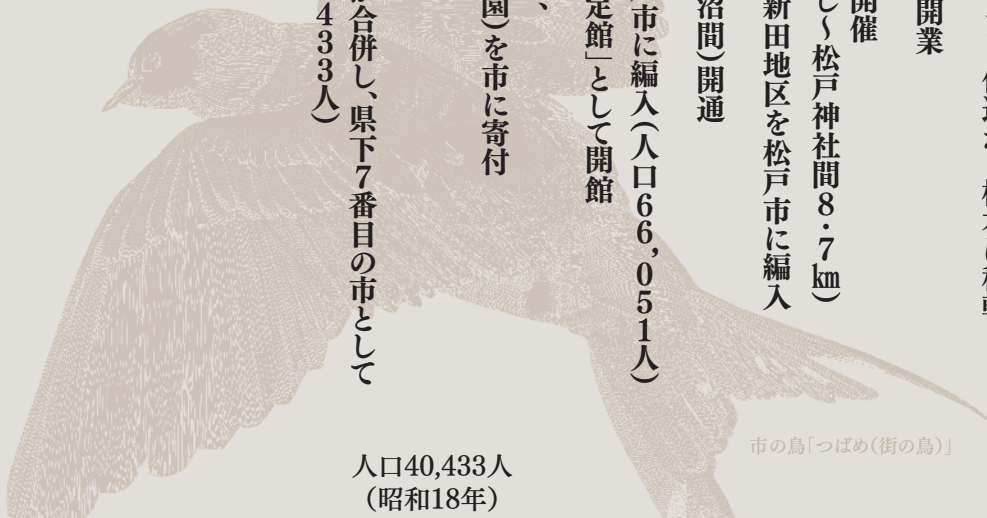
ボックス・ヒル市との姉妹都市調印式(昭和46年)



矢切の渡し

1943 昭和18年

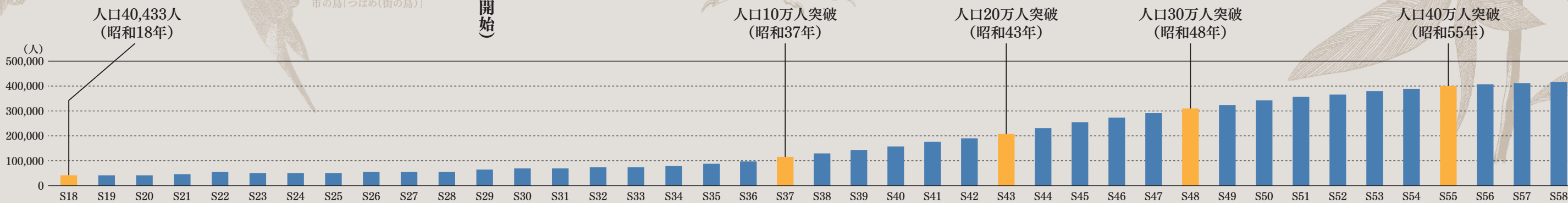
- 昭和18(1943)年 ● 松戸町・高木村・馬橋村が合併し、県下7番目の市として松戸市が誕生(人口40,433人)
- 昭和25(1950)年 ● 松戸競輪場開設
- 昭和26(1951)年 ● 徳川武定氏が戸定の土地、屋敷(現戸定が丘歴史公園)を市に寄付
- 昭和29(1954)年 ● 旧小金町の大部分を松戸市に編入(人口66,051人) ● 旧徳川邸を文化施設「戸定館」として開館
- 昭和30(1955)年 ● 新京成電鉄(松戸〜津田沼間)開通
- 昭和31(1956)年 ● 第1回七草マラソン大会開催 (松戸駅〜馬橋駅折り返し) ● 松戸神社間8.7km
- 昭和32(1957)年 ● 沼南村の一部高柳・高柳新田地区を松戸市に編入
- 昭和33(1958)年 ● 北松戸駅が常設駅として開業
- 昭和34(1959)年 ● 市役所が現在のキテミテマツド付近から根本に移転
- 昭和35(1960)年 ● 常盤平団地に入居開始 ● 総台・北松戸に工業団地造成開始(松飛台は昭和37年に造成開始)
- 昭和36(1961)年 ● 国道6号松戸バイパス開通
- 昭和38(1963)年 ● 北松戸に初の市立保育所開所
- 昭和39(1964)年 ● 二十世紀梨誕生の地記念碑完成 ● 観光梨園開始
- 昭和43(1968)年 ● 八ヶ崎に公設総合卸売市場開設 ● 市の人口が20万人を突破
- 昭和44(1969)年 ● すぐやる課誕生 ● 市内初のデパート「扇屋」開店
- 昭和46(1971)年 ● オーストラリア・ボックス・ヒル市(現ホワイトホース市)と姉妹都市提携 ● 常磐線複々線化、営団地下鉄千代田線が相互乗り入れ ● 松戸駅新駅舎完成
- 昭和47(1972)年 ● 運動公園に野球場完成 ● 栗ヶ沢公園庭球場完成
- 昭和48(1973)年 ● 武蔵野線(新松戸〜府中本町間)開通、新松戸駅開設 ● 市の人口が30万人を突破
- 昭和49(1974)年 ● 第1回松戸まつり開催 ● 第1回こども祭り開催
- 昭和50(1975)年 ● 市立松戸高校開校
- 昭和52(1977)年 ● プレハブ教室全面解消
- 昭和53(1978)年 ● ごみの分別収集開始
- 昭和55(1980)年 ● クリーンセンター(体育館・プールなど含む)完成 ● 市の人口が40万人を突破
- 昭和60(1985)年 ● 世界平和都市宣言
- 昭和61(1986)年 ● 戸定邸の庭園が県の文化財(名勝)に指定 ● 松戸駅西口デッキ完成 ● 松戸駅に東西自由通路完成
- 昭和62(1987)年 ● 常盤平さくら通りが「日本の道100選」に選ばれる
- 昭和63(1988)年 ● 「矢切の渡し」が房総の魅力500選に選ばれる
- 平成3(1991)年 ● 戸定が丘歴史公園・戸定歴史館(戸定邸を含む)オープン ● 北総開発鉄道(現北総鉄道)全線開通 (矢切・秋山・東松戸・松飛台駅開設)
- 市民憲章を制定



市の鳥「つばめ(街の鳥)」



市の鳥「しらさぎ(水辺の鳥)」





森のホール21(松戸市文化会館)



戸定歴史館をご覧になる両陛下(平成21年)



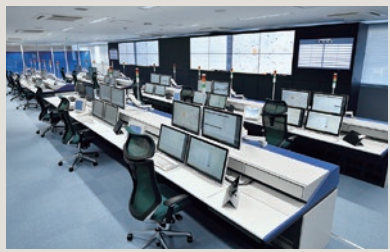
小金中学校科学部(平成24年)



専修大学松戸高等学校甲子園出場(平成27年)



市立総合医療センター開院(平成29年)



ちば北西部消防指令センター



東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニー



幸田貝塚出土品(国重要文化財)



宇宙飛行士・山崎直子さん帰還歓迎パレード



上野東京ライン開業(平成27年)



市民交流会館「すまいる」



東京外環松戸インターチェンジ



「あそびのすみか」の大型遊具



東松戸複合施設「ひがまつテラス」

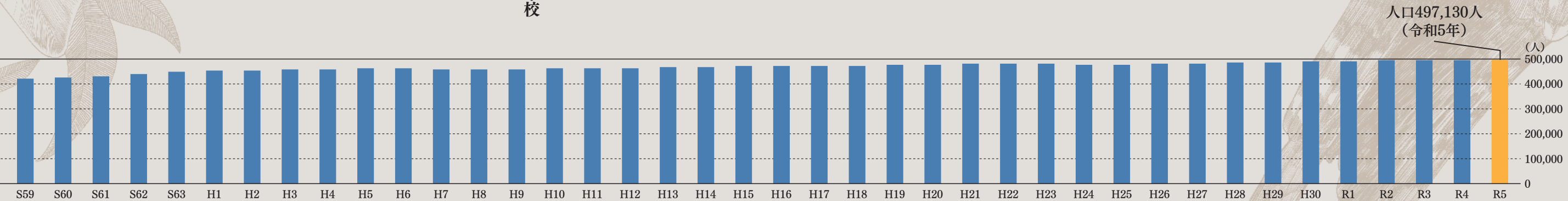
令和5年 2023

- 令和5(2023)年 ● 市制施行80周年を迎える
- 令和4(2022)年 ● ドミニカ共和国とパートナーシップ協定締結
- 令和3(2021)年 ● 東松戸複合施設「ひがまつテラス」オープン
 - 東京2020オリンピックピック・パラリンピックでレスリング女子50キロ級の須崎優衣選手が金メダル、羽賀理之選手ら車いすラグビー日本代表が銅メダルを獲得
 - 東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニー開催
 - 21世紀の森と広場内に遊び空間「あそびのすみか」オープン
 - 中央消防署内「ちば北西部消防指令センター」が県内10市で共同運用開始
- 令和2(2020)年 ● パートナーシップ宣誓制度導入
 - ご当地ナンバー「松戸ナンバー」交付開始
- 平成31(2019)年 ● 教育の機会確保法施行後、全国初の夜間中学「市立第二中学校みらい分校」開校
- 平成30(2018)年 ● 市内初の高速道路・東京外環道松戸インターチェンジ開通
- 平成29(2017)年 ● 市立病院が移転し、「市立総合医療センター」開院
- 平成28(2016)年 ● 市民交流会館「すまいる」オープン
 - ドミニカ共和国との梨交流スタート
- 平成27(2015)年 ● 専修大学松戸高等学校が市内初の甲子園出場
 - 上野東京ライン開業(品川駅まで直通運転)
 - 旧徳川昭武庭園(戸定邸庭園)が国の名勝に指定
- 平成25(2013)年 ● 松戸市制施行70周年を迎え多くの記念行事を開催
 - 松戸市のロゴマーク・スローガン決定
- 平成24(2012)年 ● 小金中学校科学部がロボカップジュニア2012世界大会でセンサー賞を受賞
- 平成22(2010)年 ● 山崎直子宇宙飛行士の帰還歓迎パレードを実施し、松戸市名誉市民の称号を贈る
- 平成21(2009)年 ● 天皇皇后両陛下が戸定歴史館へ行幸啓
- 平成20(2008)年 ● 松戸市出身の山崎直子さんが宇宙へ
- 平成18(2006)年 ● 戸定邸が国の重要文化財に指定
 - ケニアの環境副大臣ワンガリ・マタイさん(2004年にノーベル平和賞を受賞)が、新松戸南小学校に来校
- 平成16(2004)年 ● 松戸みどりの市民憲章を制定
- 平成14(2002)年 ● 新たに「市の木」「市の花」「市の鳥」を制定
- 平成13(2001)年 ● オーストラリア・ホワイトホース市との姉妹都市提携が30周年を迎える
- 平成11(1999)年 ● 五香立体本線車道部(新京成アンダーパス)開通
- 平成10(1998)年 ● 人権尊重都市宣言
 - J R武蔵野線「東松戸駅」開業
- 平成9(1997)年 ● 松戸市公式ホームページ開設
- 平成8(1996)年 ● 「柴又帝釈天界限と矢切の渡し」が「日本の音風景100選(環境庁)」に選ばれる
- 平成6(1994)年 ● 北小金駅南口再開発ビル「ピコティ」全館オープン
 - 幸田貝塚出土品が国の重要文化財に指定
- 平成5(1993)年 ● 21世紀の森と広場・森のホール21・市立博物館オープン
 - 市制施行50周年を迎え記念式典を挙行

市の花「つつじ(街の花)」

市の木「しい(里の木)」

市の鳥「ふくろう(森の鳥)」





21世紀の森と広場



戸定邸と松戸市街



松戸市ホームページ
「まつどの魅力」



松戸市ホームページ
(PR動画)

発行 = 千葉県松戸市 令和5年6月発行

